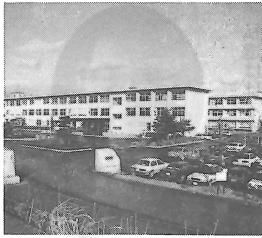


福島県立郡山北工業高等学校



同窓会報

発行所  
〒963 福島県郡山市富久山町八山田大林1  
福島県立郡山北工業高等学校同窓会  
郡山 (0249) 32-1199  
発行者 渡辺達英  
編集者 広江力男  
発行部数 8,000部  
印刷所  
(有)ヤマ孔房  
〒963 郡山市葉根1-6-21  
☎ 22-3533(代)



同窓会長 渡辺達英

己年の昭和史

私は昭和四年己巳の生れである。四年と云えば不況のどん底で、農作物の不作、金融パニックで銀行の取り付け騒ぎ、就職難で失業者があふれ、東大を卒業しても、就職の決つたのは、わずかに三分一と云う始末であつた。北海道の炭坑でガス爆発し七一人死亡、この年ニューヨークで株式が大暴落し世界恐慌が初まる。昭和十六年(辛巳)支那事変の影響で物資が不足し、戦時体制が一段と強化される、陸軍大臣東條英機が戦陳訓を発表。四月になると小学校が国民学校となる、女学校でも軍事教練が初まる。日米交渉がゆきづまり十二月八日未明第二次世界大戦に突入する。昭和二十八年(癸巳)二月NHKテレビの本放送が初まる。吉田首相が衆院予算委員会でバカヤローと暴言、三月衆院解散。中国からの引揚船第一号舞鶴入港、北九州に豪雨、死者不明者一六四〇名出ず、農林省は

昭和九年以来の凶作と発表。昭和四十年(乙巳)二月北炭夕張でガス爆発死者六十一名。六月福岡県山野鉱でガス爆発、死者三三二名。六月日本サッカーリーグ開幕サッカーブーム起る。長野県松代に地震後二年間続島に上陸、死者八八名不明二三名、負傷者四五名、十月朝永博士にノーベル物理解学賞、十一月美智子妃が男子(礼宮)を産む。昭和五二年(丁巳)一月東京国鉄品川駅付近で、二人が拾つたゴロウで死亡、二月は東京八重洲地下街で落し物のチョコレートに青酸ナトリウムを発見。平和相銀横浜支店に四人組の火炎ビン強盗七二〇万を奪う。九月パリ行き東京発の日航機が日本赤軍を名乗る五人組にハイジャックされパングラデシユのダッカ空港に強制着陸させられた、この頃の日本赤軍は世界各地でやりたい放題のことをしていた。十月には長崎市でバ

スジャック事件があり人の一人を射殺一人を逮捕している。こうして十二年目毎の歴史の中で共通している部分がないわけではないが、日本の高度経済の流れの過程で、事件も変つて来ていることがわかるであろう、ただ要点だけを書きだしているの、これを機会に昭和史に目をむけていたいただきたい。今年には平成元年、元号の様に平和な世界であれば良いが、今の様相では政治的に何か変化が起きそうなき配があるのではなからうか。この文を書くにあたって、朝日新聞社発行、目で見ると昭和角川書店発行、素顔の昭和(戸川猪佐武著)他を参考にしました。

同窓会役員名簿

- 会長 長沼24機 渡辺 達英
- 副会長 26機 佐藤 正夫
- 26機 今泉 善治
- 40電 今泉 顕喜
- 41機 佐久間秀夫
- 26機 加藤 和夫
- 42電 滝田孝太郎
- 53化 三本木勝彦
- 会計監事

同窓会員数

|     |     |     |     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 計   | 郡山北 | 郡山工 | 郡山西 | 郡山北 | 郡山工 | 郡山西 |
| 四七五 | 三六  | 七九  | 四五  | 三二  | 五八  | 四一  |

平成元年度 同窓会 総会通知

平成元年度定期総会を左記のように開催いたします。多数参加して下さいませようご案内申し上げます。尚新会員はご招待いたしますので会費は無料です。

記

- 一、五月二十一日(日) 午後二時より
- 一、場所 多楽食堂 郡山市提下町
- 一、会費 三千元 (当日持参下さい)

懇親会

文房具・事務用品・ファンシー・アクセサリー・画材

有限会社 **渡達**

代表取締役 渡辺達英 (昭24機械)

郡山市麓山通り(市民会館入口) TEL22-1159



校長 佐藤 正与

### 凡人の心について

私達ははるかな遠い昔から他人を嫉み妬んで、貧り身を煩わし、心を悩まし、生に迷い、死に苦しむ、悲しい生き方をして来ているように思います。とかく、人間は、自分に親しみ、順つて来る者を愛し、それに執われ、また、自分の欲望を満たしてくれる者を愛しがちで、この心が深いほど愛するものが、自分から離れてゆきます。欲するものが得られないと、往々にして愛は憎しみに変わります。そして、あくまでも自分を善の基準とし、他人を悪とする傾向があります。

私達は自然の世界の中で生きていますが、悲しいかな、私は自分自身がわからないで生きている時が多いように思います。自分がわからないから自己中心に陥り、反省することも、自覚することもなく生きています。自分かわからなくて、この世もわからないはずがなく、その分らないままに、生きていくのが人間

なのかも知れません。今から約一三〇〇年前に聖徳太子がこんなことを書いています。「念を絶ち願を棄て、人を違えるを怒らざれ。人皆心有り。心おのおの執るところ有り。彼是なるときはすなわち我非なり。我是なるときはすなわち彼非なり。我必ずしも聖に非ず。彼必ずしも愚なるに非ず。共にはれ凡夫のみ」この意味を要約すれば「人はそれぞれに個性をもち、それぞれに心をもっているのであるから、自分のいうことを受け入れない人がいても、それで怒ってはならない。自分が必ずしも賢いわけではないし、他人が必ずしも馬鹿であるはずはなく、すべて、ただの人間であつて、その限りにおいて、すべての人間は同じである」というようなことになると思います。現代の私達が他の人達と交わつて生きてゆくときの貴重な処世訓として、立派に生きています。彼と我とは夫

個性をもっているのです、賢いとか、愚かとかの尺度でのみ測つてはならないということだと思ひます。私達は自分自身を引き離して人間を向う側において眺めることが大切であるが、人間とは他人ではなく、自身のことなのです、そのことに気がつけばこんなこと



教頭 糠澤 茂夫

### 学校行事をふり返つて

同窓生の皆さん、それぞれの分野でご活躍のことと存じます。母校も本県工業教育の基幹校として、教育内容の充実、施設設備環境の整備等に着々と成果をあげているところです。さて、与えられたテーマが「学校行事をふり返つて」ということですが、今年はとり立てる程のエベントはなく、学校は年間行事計画に従つて順調に運営されておりです。そこで同窓生の皆さんが、かつて高校生であつた頃を憶ふ縁にもなればと、月毎の主なる行事を紹介しコメントを加えて見たいと思ひます。

四月、入学式—希望に胸とを書くことだつておこがましくなつてきます。でも一三〇〇年も前に現代でも通用する人間の生き方を示めしていることを知れば、現代の科学の進歩に対して、人間の精神の進歩発達をどこに見つけ出せばよいか迷つてしまひます。

八月、県総体、中学生一身体験入学、進学補習など。九月、三年生面接指導、就職試験、生徒会役員選挙、校内陸上競技大会(残念ながら雨天中止)など。

十月、修学旅行、遠足、中間調査、校内駅伝大会、生徒会役員研修合宿など。

十一月、生徒会秋の文化行事(ミニ文化祭)、主な内容はクラシックギターコンサート、講演会、各種展示、合唱、弁論大会、クイズ大会でした。なお三年に一度の北嶺祭は本年十月二十八日(土)二十九日(日)に開催しますのでご期待下さい。視聴覚教室は劇団東演による「翔べイカソの翼」観劇でした。

十二月、期末調査、ガス溶接講習など。

一月、百人一首テスト、校内カルタ大会、吹奏楽定期演奏会(二十二日)など。

二月、期末調査、三年クラス分散会、賞状授与式。

三月、卒業式、離任式、同窓会入会式。

以上行事を羅列しただけのように思われますが、人間の記憶には限界があります。強く残っているもの、そうでないものなど様々で

●カーコンサルタント

**株式会社 今川**

代表取締役 今川 直彦 (昭34機)

本社 〒963-01 郡山市安積町荒井東前田37-3  
☎0249 (45) 1 6 2 3 (代)

車検センター 郡山市安積二丁目184-1  
☎0249 (45) 8 3 0 0

(株)太成 郡山市安積町成田字高田47  
カーサービス ☎0249 (45) 2 4 7 8





教頭 及川 利 弥

### 本校に 着任して

す。この行事の一コマコマを思い起す時、楽しかったこと、苦しかったことなど脳裏に去来するものがある

と思います。高校時代、体験を貴重なバネとして、更に大きく飛躍することを祈念してペンをおきます。

他校からみれば羨ましい施設設備を備えた本校に再び勤務することとなりました。明るく広く綺麗な校舎は県下に誇り得るものであります。車数百台をも収納可能なスペースを有し、県のほぼ中央、経済県都といわれる郡山市に存在する本校は、県下工業高校の中核的存在となり得る客観的要件を十分に備えております。この恵まれた環境に学ぶ生徒諸君は幸せであると思われ

戦中戦後のひもじい暮らしを体験した世代には、何とも物質的に豊かな時代となりました。半面、心の貧しさが目につくようになり、かつての日本人は、貧者の美学的なものを持っていたように思われます。貧者のものからも、美を生み出せた日本人は今いずこ

とあります。高校時代、体験を貴重なバネとして、更に大きく飛躍することを祈念してペンをおきます。

家庭では、親子の関係が難しくなり親の常識が子供には通じない時代となつています。与えられ続けた結果、傲慢で独りよがりの人間が増え、青少年に活力と迫力が失われてきているようです。このような風潮のなかで教師側の苦悩もまた増加しています。

質の状態で成り立ってきた教育は、新たな視点から見直しを迫られています。豊かな時代の教育が模索されていくところでもあります。

存在となることができます。「やるぞ」という気迫、気が今の生徒諸君に望まれてなりません。今年度から外部講師活用制度が導入されました。この制度は産業界各分野の豊かな経験と学識を有する専門家を講師として招聘し、産業界の先端的な知識・技術に触れさせ、学習への興



教頭 冨塚 喬 夫


### 定時制の一年

味・関心を高め職業教育の活性化を図ろうとするものです。講師には同窓生の皆様のご協力も仰いでいます。学校側より依頼のあります。た節は、快くお引き受けいただき後輩を叱咤激励してください。同窓生の皆様の御健勝と御発展を心から祈念し、挨拶いたします。

同窓生の皆さんにはいかがお過ごしでしょうか。本校定時制は郡山工業高校に夜間課程として発足して三十年になります。生徒数は十年前の三百名から年々減少して、現在は七三名が学んでいます。今年度は機械科と電気科が募集停止になり、新たに工業科として四名の定員で再出発しました。二年次からは、機械・電気二つのコースに分けて、今更と同様に技術者養成に努力する予定です。中学校卒業者の就職率が三〇年前の四三%から、現在は四%に減少したことにより、勤労青少年教育として四〇年の歴史がある定通

教育も大きな転換期にさしかかっています。先の国会では学校教育法の一部改正があり、修業年限が「四年以上」から「三年以上」に改められました。定通併修技能連携などを取り入れることにより、卒業に必要な単位がとれば、三年でも卒業が可能になったわけですから、働きながら学ぶ青少年にとつては朗報ではないでしょうか。しかし、実施するまでには多くの曲折があります。本校としても県教委の指導を仰ぎながら、単位制のことも含めて研究するつもりです。

しいものがありました。全国定通体育大会に、軟式野球・軟式庭球・柔道・剣道が県代表として出場しました。庭球・柔道・剣道は予選リーグで善戦しましたが決勝トーナメントには残れませんでした。野球は鳥取西高との一回戦でゴールド勝ちをし、二回戦の静岡商業には優勢に戦つたのですが、延長にもつれこみながら、さよなら負けをしました。夜間定時制に学ぶ生徒達にとつては、練習時間がほとんどなく、夏休みに職場から駆けつけてきて、時間を惜しみながらの練習にごくろうさんと大きな声で言つてやりたい気持です。また、全国大会出場に際しては、失礼とは思いますが、御協力をお願いしたところ多くの方々より、温かい御支援をいただき、誠にありがとうございました。


**総合防災プランナー**  
**火災発見より消火まで**  
**田村通信防災工業株式会社**  
 代表取締役 増子 久治 (昭和42年卒)  
 福島県郡山市安積町荒井字下北井前4の1 ☎(0249)45-2882(代) F A X 46-2875

# 北工、各種大会で大健闘

## ソフト2年連続V 全国定通大会出場 野球, テニス, 柔道, 剣道

### 生徒会この一年

#### ▼生徒会

今年の部活動の成績は例年通りということになりましたが、本校では県大会出場ぐらゐは当然と見られますので、例年並とはいえず立派な戦績でした。

特記すべきは、バレーボールの県の新人大会優勝です。久々の快挙、来年度が期待されます。

次は部昇格後のラグビーの活躍です。北工も強豪の中に数えられるようになりました。

ソフトボールは全国大会へ、バドミントンには東北大会へとそれぞれ高い水準を維持して立派なものです。

サッカーはもはや全国大会出場以上でなければ満足されないほどの期待を集め、がんばったが惜敗。柔道は軽量級で佐藤君が県で二位。

陸上では草野君ジュニア全国大会出場などが光っています。なおその他の活動ぶりは別掲の記事によってお確かめ下さい。

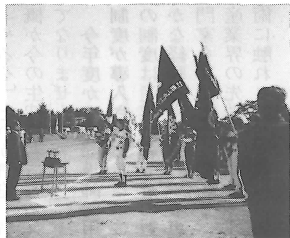
一方文化部では、昨年度発足の高文連にそれぞれの部が参加し活動したところ

です。中でも、この高文連総合開会式では、吹奏楽部

が歓迎演奏を担当し、県下にその名を高からしめました。JRC委員会は県下六〇校七千名の事務局校をうけ、根本君がその事務局長の任を果たしました。

また校内では、執行委員会を中心に、クラス代表の中央委員の協力のもと部紹介、対面式を皮切りに、生徒総会、リーダー講習会、球技大会をこなし、北嶺祭のミニ版、秋の文化行事をも生徒の自主的な運営にさせられより充実した内容で展開されました。自治活動は限界といわれる昨今ですが、本校はまだ活力があります。平成元年秋の第四回北嶺祭に向かって生徒も頑張っています。

(顧問 古宮正雄)



南東北大会開会式(ソフト)

### 全国選抜出場

#### ▼ソフトボール部

今年、春季大会、高校総体二位、県総体優勝し、東北総体へ臨み第三位。そして県新人大会優勝、南東北大会へ出場し、一・二年生が無心に戦い、二年連続全国選抜出場を果たした。(第七回南東北大会)

(準決勝)  
郡北工 1130410  
古川 0030011  
郡北工 0001230  
白石工 1000000  
1 6

(決勝)  
郡北工 0001230  
白石工 1000000  
1 6  
(顧問 池田吉重郎)

### 来年こそ全国大会

#### ▼サッカー部

今年も又、念願の全国大会出場はならなかった。特に今年は精神面での集中力に欠けたための敗戦だっただけに悔しい。サッカー部は、自分に克つ強い精神力と協同の心を第一に厳しい練習を課してきている。今、練習がきつ

いということで中学生に人気はない。しかし、いつかは解ってもらえる時が来る

と信じている。その時こそ全国レベルで活躍したい。 県南地区大会、四回

三月の静岡遠征、五月の矢板、十二月の宇都宮と各方面のご協力を得て、全国レベルと対戦する機会がある

ことも、北工サッカーマンの人間形成に大いに役立っている。(顧問 仲本武司)

### 県新人大会優勝

#### ▼バレーボール部

大会成績  
◎高校総体県南予選会 二部リーグ優勝で一部昇格  
◎県高校総体 ベスト8  
◎県総合体育大会 一回戦敗退  
◎一年生大会 第二位  
◎県南選手権大会 第二位  
◎県新人大会 第二位

◎県新人大会 優勝 (顧問 安斎博)

### 東北大会

#### 二度目の挑戦

#### ▼バドミントン部

今年度は、全国大会を目標に部員一同練習に励みましたが、残念ながら到達できず東北大会団体戦の二回で終る。

インターハイ秋田県での一勝を得る新人戦東北大会山形市での二度目の挑戦で一勝をあげたい。

(顧問 水田守)

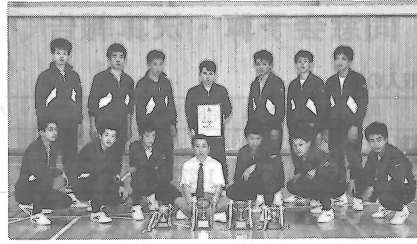
工作機械 / 板金機械 / 熔接機材 / 作業工具 / 測定工具 / 研磨材

## 株式会社 伊藤商店機材部

代表取締役 伊藤 英二 (28年度建築科卒)

〒963 郡山市菜根5丁目21番13号 ☎ (0249) 33-0611 (代)

各種大会の優勝杯と選手  
(バドミントン部)



### 来年に大きな期待

#### ▼陸上部

東北大会には、安田純一(電3)―一〇MH、草野義勝(電2)三〇MSC、橋本義成(機2)棒高跳、佐々木恵美子(情3)砲丸投の四名が出場したが全国大会へのキップを手にすることが出来なかった。県総体も記録が伸びず不振であったが、新人陸上では、草野が三〇〇MSC、五〇〇MMに優勝、橋本、遠藤が棒高跳で入賞しており新年度に大きな夢を抱くことが出来たので好記録を目指し頑張りたいと思います。(顧問 三留邦俊)

### 軽量級で大活躍

#### ▼柔道部

今年度は機械二―三の佐藤和紀が軽量級で大活躍した。県総体地区予選 第三位 県高校新人大会予選第二位 県高校新人大会 第二位 県学年体重別大会 第一位 このように尻上りに成績がよくなり、来年が期待される。

また一年生では学年体重別大会予選で、化工一―二の二人が三位に入賞した。軽中量級 鹿又裕生 軽重量級 石沢敬之 (顧問 佐藤正助)

### 新人戦準優勝

#### 男子団体

#### ▼弓道部

今年はいまひとつであった。成績は次の通り。第34回福島県高校大会 男子団体Aブロック3位 第18回福島県遠的弓道大会 個人優勝山辺充(機二) 第41回福島県総合体育大会 近的個人女子3位

高橋奈穂美(情三) 第26回福島県高校新人大会 男子団体 準優勝 個人4位七海雄市(化二) 第7回全国高校弓道選抜 福島県大会 男子団体4位 (顧問 池添祥史)

### 部昇格1年目で大活躍

#### ▼ラグビー部

福島県総合体育大会 少年男子Aブロック 準優勝 福島県高等学校体育大会 3位 福島県高校新人体育大会 Bパート3位 今年度の成績は以上であります。

次年度は、今年以上の成績を残せるよう部員一同頑張りたいと思います。(顧問 加藤勝則)

### 東北大会出場

#### マーチング

#### ▼吹奏楽部

今年も行事の多い充実した一年であった。その中で九月の吹奏楽コンクール県大会で銀賞、マーチング県大会で金賞を受賞した。そして十月末八戸で開催されたマーチング東北大会に出場、観衆より感嘆の声と拍手をいただいた。そしてわが部最大の行事である第12回定期演奏会へ向けて、61名の部員全員が練習に励んでいる。1月22日文化センターでの感動のひと時を求めて。(顧問 中山郁子)

### 全国定通大会出場!

#### ▼定時制生徒会

今年度は、各部共に、県大会において、上位の成績を修めることができた。特に軟式野球、軟式テニス、柔道、剣道が、全国定通体育大会に出場することができた。

軟式野球は、昨年、県大会を制したが、東北大会で敗れてしまい、惜しくも全国大会への夢を果たすことができなかった。しかし、今年度は、昨年のレギュラーが6名も残っていて、「今年こそ神宮へ」と心を一つに、毎日、4年生を中心に猛練習を繰り返して、安定した強さで県大会を圧勝し、第三十五回記念大会での県代表として4年ぶり4回目の出場を決めることができた。また、テニス、柔剣道も4年連続出場を決め、選手の中には、3名が4年間を通して全国大会出場を達成した生徒もいるほど今年度は良い年でした。

生徒達の生活は、昼間働いて夜授業を受ける、たまに仕事の疲れで居眠りが出ることがあるが、それでも放課後の練習は欠かしたことはありません。仕事の都合で全員そろえることは少なく、苦勞も多いが、短時間で効果的な練習に心掛け、生徒達が自主的にやっているのです。

このような姿を見ていると、生徒達の苦勞、忍耐には、我々の想像以上のものがあると思うのです。全国大会へ出場できたのも生徒自身の努力もあるが、暖かい皆様のご支援があったからこそ実現できたのです。本当にご協力ありがとうございました。来年度も今年同様上位入賞を目標に一生懸命練習に励んでおりますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。(顧問 松本善法)

#### ◎軟式野球大会成績

一回戦 本校七〇鳥取西高一回戦 本校四一五静岡商高



第35回全国定通軟式野球大会

スポーツは、人生の友だち

フタナベスポーツ

卸営業センター／福島県郡山市富田町字町畑19番 T E L 0249(51)0666(代)  
本店／福島県郡山市駅前2丁目6番3号 T E L 0249(22)3650(代)  
本並木店／福島県郡山市本並木3丁目2番16号 T E L 0249(22)3651(代)

同窓会予算・決算報告

1. 収入の部

| 項 目   | 昭62決算額    | 昭63予算額    | 備 考       |
|-------|-----------|-----------|-----------|
| 繰 越 金 | 3,369     | 60,717    |           |
| 会 費   | 1,245,000 | 1,272,000 | 424×3,000 |
| 入 会 金 | 1,290,000 | 1,308,000 | 436×3,000 |
| 利 子   | 1,233     | 100       |           |
| 雑 収 入 | 96,000    | 60,000    |           |
| 合 計   | 2,635,602 | 2,700,817 |           |

2. 支出の部

| 基 本 金  | 507,000   | 516,000   | 860×3,000×0.2 |
|--------|-----------|-----------|---------------|
| 会 議 費  | 211,530   | 220,000   |               |
| 事 務 費  | 148,040   | 150,000   |               |
| 電 弔 費  | 179,800   | 200,000   |               |
| 通 信 費  | 406,350   | 420,000   |               |
| 旅 費    | 135,620   | 130,000   |               |
| 会誌編集費  | 237,445   | 200,000   |               |
| 渉 外 費  | 25,000    | 40,000    |               |
| 卒業生関係費 | 181,700   | 200,000   |               |
| 事 務 局  | 80,000    | 80,000    |               |
| 予 備 費  | 62,400    | 144,817   |               |
| 特 別 費  | 400,000   | 400,000   |               |
| 合 計    | 2,574,885 | 2,700,817 |               |

事務局  
だより

昭和63年度定期総会

1988  
5.15

昭和63年度定期総会は、五月十五日(日)午後二時より「多楽食堂」の二階において職員・来賓多数の御臨席を得て同窓生三十五名が参加して開催されました。会長より出席された来賓の紹介があり、また広江事務局長より職員の紹介があり、議事が進められ、おも

な内容は、庶務報告、決算報告、予算案等が別紙の通り可決されました。次に同窓会名簿作成について広江事務局長より会員各位の御協力により無事発行することが出来た旨の報告があり総会は無事終了した。引続いて恒例の懇親会が盛大に行なわれました。



同窓会館

支 部 連 絡 先

| 〒      | 方 部 名    | 方部長名  | 卒業年度 | 勤 務 地                          | 現 住 所                                |
|--------|----------|-------|------|--------------------------------|--------------------------------------|
| 145    | 東京支部     | 小野寺 昭 | 23機  | ☎03-276-5454<br>日東紡興産 K.K 営業部  | ☎03-729-3611<br>東京都太田区北嶺27-4         |
| 203    | 東京支部事務局長 | 渡辺 達良 | 28建  | ☎03-364-1365<br>建築工房 いらか       | ☎03-364-1365<br>東京都東久留米市滝山6-2-12-402 |
| 320    | 宇都宮支部    | 吉田 良毅 | 31機  | 富士重工 K.K 宇都宮製作所                | ☎0286-58-8967<br>栃木県宇都宮市今宮4-1973-3   |
| 112    | 水戸支部     | 山崎 功  | 29機  | K.K 日立製作所 水戸工場                 | 茨城県勝田市中根4950-14                      |
| 316    | 日立支部     | 山川 敏夫 | 27機  | K.K 日立製作所 日立工場                 | ☎0249-37-5534<br>茨城県日立市金沢町5-7-5      |
| 362    | 埼玉支部     | 土屋 勇  | 29機  | 日産ディーゼル K.K 上尾工場               | 埼玉県上尾市緑ヶ丘1-2-23                      |
| 961    | 白河方部     | 清水 国雄 | 25機  | 清水建設工業 K.K (自営)                | ☎0248-22-3086<br>白河市南町44             |
| 969-13 | 郡山市役所方部  | 加藤 宰司 | 25機  | 郡山市役所 水道局                      | ☎0243-48-2811<br>安達県大玉村玉井字薄黒内127     |
| 963-01 | 日東富久山方部  | 高橋 英雄 | 25機  | 日東紡績 K.K 富久山工場                 | 郡山市安積町柴宮27-10                        |
| 963    | 本部会長     | 渡辺 達英 | 24機  | ☎0249-22-1159<br>渡辺文房具店 (自営)   | ☎0249-22-1159<br>郡山市麓山町1-16-28       |
| 963    | 本部事務局長   | 広江 力男 | 24機  | ☎0249-32-1199<br>福島県立郡山北工業高等学校 | ☎0249-32-6851<br>郡山市長者2-17-6         |

商業施設・商店建築・店舗内外装工事 設計・監理・施工  
一般住宅建築・増改築改装工事

株式会社郡山デザイン・店舗工芸社

代表取締役・二級建築士 有我 榮 (36年 機械科卒)  
インテリアプランナー

☎963 福島県郡山市深田台1番地の6  
TEL 0249-44-7171(代) FAX 0249-44-7168

# 教 職 員 異 動

昭和62年度

基本金会計報告

(全日制)

| 職名  | 氏名    | 科名 | 転出先   | 職名  | 氏名    | 科名 | 前任校   |
|-----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|
| 教諭  | 浅生田悟葉 | 国語 | 退職    | 教頭  | 及川利弥  |    | 福島工   |
| 教諭  | 土田昭吉  | 機械 | 退職    | 教諭  | 三留邦俊  | 体育 | 安二    |
| 教諭  | 松永督   | 化工 | 退職    | 教諭  | 高久田稔  | 電気 | 白河実業  |
| 教諭  | 園部好郎  | 情報 | 退職    | 教諭  | 岩田泰大  | 国語 | 石川    |
| 主実講 | 佐久間 暲 | 機械 | 退職    | 教諭  | 若松富士雄 | 社会 | 田村    |
| 校長  | 佐藤 澤弥 | 電気 | 白河実業  | 教諭  | 後藤 博之 | 機械 | 福工(定) |
| 教諭  | 遠藤 秀泰 | 社会 | 田村    | 教諭  | 縫 裕訓  | 機械 | 塙工    |
| 教諭  | 宇佐神正武 | 機械 | 白河実業  | 教諭  | 菊池 晃  | 化工 | 勿来工   |
| 教諭  | 飯出 良朗 | 化工 | 塙     | 教諭  | 木田 英男 | 電気 | 新採用   |
| 教諭  | 大越 洋  | 機械 | 塙工    | 教諭  | 山口 真二 | 機械 | 新採用   |
| 教諭  | 星 保男  | 体育 | 清陵情報  | 教諭  | 山内 義美 | 化工 | 新採用   |
| 教諭  | 小菅富士雄 | 機械 | 清陵情報  | 実講  | 佐々木郁雄 | 機械 | 塙     |
| 教諭  | 原田 智  | 電気 | 清陵情報  | 実助  | 富岡 秀忠 | 建築 | 勿来工   |
| 教諭  | 根本 和次 | 電気 | 喜工    | 実助  | 外山 茂  | 電気 | 福島工   |
| 教諭  | 富樫 実  | 建築 | 福工(定) | 実助  | 新村 善一 | 機械 | 塙工    |
| 実講  | 逢崎 守  | 電気 | 二本松工  | 実助  | 斎藤 晴美 | 電気 | 新採用   |
| 実助  | 宮部 正吉 | 機械 | 清陵情報  | 教諭  | 白岩美代子 | 家庭 | 兼務    |
| 教頭  | 西間木 清 | 商業 | 清陵情報  | 時講  | 松坂 昭夫 | 英語 | 採用    |
| 教諭  | 稲垣 博司 | 機械 | 清陵情報  | 事務長 | 須佐 哲也 | 事務 | 企業局主幹 |
| 時講  | 佐藤 哲哉 | 英語 | 退職    | 主査  | 佐藤金五郎 | 事務 | いわき教事 |
| 時講  | 鈴木 将敬 | 社会 | 退職    | 主査  | 遠藤 光雄 | 事務 | 郡山流水建 |
| 講師  | 三浦かおり | 家庭 | 退職    |     |       |    |       |
| 事務長 | 川俣 洋二 | 事務 | 福女    |     |       |    |       |
| 主査  | 佐久間岑夫 | 事務 | 土地開若松 |     |       |    |       |
| 主査  | 西山 理  | 事務 | 清陵情報  |     |       |    |       |
| 臨事補 | 澤 千栄子 |    | 退職    |     |       |    |       |
| 臨事補 | 小野里美香 |    | 退職    |     |       |    |       |
| 臨事補 | 水島しのぶ |    | 退職    |     |       |    |       |

### ①収入の部

|           |               |           |
|-----------|---------------|-----------|
| 繰越金       |               | 3,573,193 |
| 昭和63年度基本金 | 860×3,000×0.2 | 516,000   |
| 利子        |               | 100,036   |
| 合計        |               | 4,189,229 |

### ②支出の部

|        |  |           |
|--------|--|-----------|
| なし     |  | 0         |
| 次年度繰越金 |  | 4,189,229 |

### 新入会員

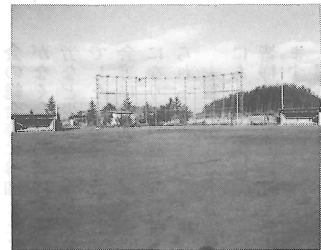
各年2月末

| 科年 | '89 | '88 | '87 |
|----|-----|-----|-----|
| 機械 | 124 | 120 | 117 |
| 電気 | 81  | 80  | 82  |
| 電子 | 42  | 42  | 42  |
| 情報 | 41  | 42  | 42  |
| 建築 | 43  | 39  | 41  |
| 化工 | 84  | 79  | 81  |
| 定機 | 11  | 16  | 5   |
| 定電 | 14  | 6   | 3   |
| 合計 | 440 | 424 | 413 |

(注) 89年2月は見込み

(定時制)

| 職名   | 氏名    | 科名 | 転出先 | 職名 | 氏名    | 科名 | 前任校   |
|------|-------|----|-----|----|-------|----|-------|
| 教諭   | 富田 秀夫 | 社会 | 退職  | 教諭 | 渡辺 積雄 | 社会 | 新採用   |
| 常講   | 半沢 徹  | 理科 | 退職  | 教諭 | 佐藤 健  | 理科 | 新採用   |
| 主任実講 | 渡辺 勝彦 | 機械 | 塙   | 実講 | 氏家 淳  | 工業 | 二本松工業 |
| 主用員  | 熊田 滋  |    | 須賀川 |    |       |    |       |



野 球 場

★新刊 書籍・雑誌・教科書・北工教科書  
辞典・参考書・文庫etc 取扱店

## (有)松文堂書店

堂前店/郡山市堂前町(如宝寺前) ☎(32)2362



# 大友パン

郡山市さくら通り TEL23-6536



# 同窓会規約

## 第一章 総 則

第一条 本会は福島県立郡山北工業高等学校同窓会と称し、本会の本部事務局は、福島県立郡山北工業高等学校(以下「母校」と称す)内におく。

第二条 本会は会員の親睦を図り互助の事業を行ない、母校教育の振興発展に努め、わが国の工業発展に寄与することを目的とする。

第三条 本会は第二条の目的を達成するため、次の事業を行なう。

- 一 母校の発展と会員の相互扶助に関する事業
- 二 会誌・会員名簿・その他図書印刷物の刊行
- 三 その他目的達成に必要な事業

## 第二章 会 員

第四条 会員を分けて普通会員、名誉会員、特別会員、準会員とする。

一 普通会員は県立郡山工業高等学校・県立郡山北工業高等学校の出身者とする。

二 名誉会員は母校の旧校長とする。

三 特別会員は母校の現旧職員とする。

四 在校生は準会員とする。

## 第三章 役 員

第五条 本会に次の役員をおく。

- 一 会 長 一名
- 二 副 会 長 四名
- 三 監 事 三名
- 四 常任幹事
- 五 幹 事 各クラス二名
- 六 事務局次長 一名
- 七 事務局次長 二名

第六条 役員は任務は次のとおりである。

- 一 会長は本会を代表し会務一切を統括する。
- 二 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときは、その任務を代行する。
- 三 監事は本会の運営及び会計を監査し、幹事に出席し発言できる。
- 四 常任幹事は本会の事業を執行する。
- 五 幹事は本会の事業を審議する。
- 六 事務局次長は会務の処理にあたる。
- 七 事務局次長は事務局長を補佐し庶務を分担する。

第七条 本会の役員は次の方法によって選出し、その任期は二年とする。但し再任を妨げない。

- 一 会長・副会長・監事は総会において選

二 常任幹事・幹事・事務局次長は会長が委嘱する。

三 事務局次長は事務局長が選任する。

## 第四章 会 議

第八条 本会の会議は総会・幹事会・常任幹事会とする。

一 総会は本会の最高決議機関であって、毎年一回会長がこれを召集する。但し幹事会が必要と認めた場合は、臨時に開くことができる。

二 幹事会は正副会長・事務局次長・同次長・常任幹事・幹事・監事で構成し、総会につく決議機関である。

三 常任幹事会は正副会長・事務局次長・同次長・常任幹事・監事で構成し、会務を審議執行する。

第九条 必要に応じて三役会を開くことができ、正副会長・事務局次長で構成する。

第十条 本会の経費は会費・入会金・事業収入・寄附金をもってこれをあ

てる。

第十一条 普通会員は卒業の際終身会費三千元を入学時に入金三千元を納入する。

但し定時は卒業時に入金三千元と終身会費三千元を納入する。

第十二条 本会の入会金、終身会費の二割を、基本金として積立てる。

第十三条 本会の会計年度は四月に始まり、翌年三月に終る。

本会の収支は毎年三月末日において決算し、総会に報告する。

第十四条 本会に次の帳簿をおき、事務局で保管する。

- 一 規約綴
- 二 会員名簿
- 三 役員名簿
- 四 会計簿
- 五 記録簿
- 六 文書綴
- 七 備品台帳
- 八 その他必要と認められた帳簿

第十五条 本会に次の集会を設けることができる。

- 一 各支部会
- 二 各科会
- 三 同級会
- 四 その他の会

これらの運営はそれぞれの規約による。

第十六条 本会に次の規を設ける。

一 表彰内規

二 旅費内規

三 慶弔内規

四 会計内規

第十七条 本会会員は氏名・住所・勤務先等に変更があった場合、直ちに事務局に連絡しなければならぬ。

第十八条 規約の変更は総会において、出席会員の過半数の賛成を得なければならぬ。

## 第七章 附 則

一 この規約は昭和五十二年十二月十八日より施行する。

二 この規約は昭和五十五年五月十八日より施行する。

## 編集後記

去年の四月に北工に着任し、同時に同窓会の仕事を一手伝いしております。それでは、一度も同窓会の総会等に参加したことがなく会員の皆様方の御苦労など少しもわかりませんでした。事務局員として総会等に参加させて頂くようになり私自身大変勉強させられることばかりです。末筆ながら、本会報発行にあたり、御協力を頂いた皆様方に厚く御礼申し上げます。(編集委員 佐々木郁雄)

“今日のスタミナ源”

給食弁当・仕出し

寿司,おにぎり,オードブル,etc  
ご予算に応じて調整いたします。

味とボリュームの弁当

ホクト一食品

代表取締役 島崎 清 (42年建卒)  
場 郡山市山崎305-90 TEL22-0166